

アジア太平洋地域ブリテン 2022 年 10 月号

このアジア太平洋地域ブリテンは、2022 年 11 月 12 日に発行された、英語版のアジア太平洋地域ブリテン (Y's Hub - Asia Pacific Area) 10 月号の記事の内、特に日本の皆さんに関わりの深い記事、読んでいただきたい記事を抜粋して、日本語に翻訳したものです。また、掲載した記事も、一部に編集した文章、割愛した文章、写真があることをご了承ください。

なお、原文(英語)は、[こちらから読むことができます](#)。

国際ユースコンボケーション 2022 の報告と振り返り (Page 7~10)



アリーサ・マリー・
R・アリタ
ユース代表



第 18 回国際ユースコンボケーションは、タイのチェンマイで開催され(2022 年 9 月 4 日~9 日)、これまですべてをヴァーチャルで行ってきた後の、最初の対面での活動でした。

アジア太平洋地域からは、ワイズメンズクラブ国際協会国際本部から 75%の補助金を受け、チャーミング・シェン地域会長が率いるアジア太平洋地域から 25%の補助を受けて、合計 24 名が参加しました。

国際ユースコンボケーション 2022 のテーマは、ワイズメクラブ国際協会の 100 周年を記念して「過去を尊重し、現在を大切にし、未来を形作る」です。最年少のタイからの代表者ドーナツによるろうそくの吹き込みとケーキ入刀に引き続き、象徴的なユースがシニアリーダー(代表: 利根川恵子次期地域会長)にケーキのスライスを食べさせる儀式で、この夜の祝宴は幕を閉じました。

国際ユースコンボケーション 2022 のセッション:

- メンタルヘルスに関する分科会と、メンタルヘルスに関する新たな懸念に対処するために若者は何ができるのか。
- K・C・サミュエル国際会長による戦略 2032
- デイノ・バンディラ YIA 国際事業主任によるゴールド 2.0 とリーダーシップ・トレーニング



文化交流会では、各地域の文化が紹介され、親睦を深めることができ、楽しい一夜となりました。日本チームは、文化パフォーマンス部門で最優秀賞を受賞しました。



国際ユースコンボケーションの参加者は、シティツアーに参加し、ろう学校・コミュニティ、チェンマイ Y.M.C.A の環境コミュニティ、職業教育(山岳民族)、カウイラ学校を訪問しました。



国際会長晩餐会では、参加者への賞状授与、インドからの新しい国際ユース代表クリシュナン・ユニの交代式、就任式が行われました。



国際ユース委員会 (IY Com) のメンバーと全てのユース参加者に対して、2022 年の国際ユースコンボケーションの成功をお祝い申し上げます。私たちは、来年の地域ユースコンボケーションでアジア太平洋ユース参加者の皆さまとお会いできることを楽しみにしています。



ナムナ・スベディ
(ネパール)

国際ユースコンボケーションプログラムは、世界中の同じ志を持つ若者が集まり、ネットワークを構築し、リーダーシップスキルを向上させ、二国間学習を行い、コミュニケーションスキルやその他の資質を高めるための巨大なプラットフォームとなっています。若者に力を与えるという強力なコンセプトであり、変革のために同じ局面にいる若者を一緒に働かせる可能性を持っています。

私は、「ユース主導の解決策によるコミュニティへの影響力」というセッションが好きでこのセッションでは、精神衛生、ウェルビーイング、虐待、ネグレクトなど様々な問題について、限られたグループの中で自分たちの経験を共有することに取り組みました。若者の力、パワー、団結は、多くのことを変えることができます。若者の持つエネルギー、熱意、決断力、モチベーションは、どんな力をも凌駕するものです。



下田万葉
(山梨 YMCA
東日本区)

今回、初めて IYC に参加しました。一番やりがいを感じたのは「出会い」です。私は英語が堪能ではないので、他の参加者と良い関係を築けるかどうか心配でした。しかし、大切なのは共通言語を持つことではなく、コミュニケーションを図りたいという気持ちを行動で示すことだと学びました。それは、海外の元気な若者と一緒に過ごす中でわかったことです。帰国後、早速、語学学校の子どもたちに IYC の経験を伝えました。学んだことを山梨 YMCA に還元できる喜びを感じています。これからも国内外の青少年と関わり、つながりを活かしてお互いの活動を盛り上げていけたらと思います。この度は、多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございました。このような素晴らしい機会を与えていただき、心から感謝しています。



メロディ・
クインタニラ
(フィリピン)

IYC は、9月4日から9日にかけてタイのチェンマイで開催され、私の今年のハイライトのひとつとなりました。ワイズメンズクラブ国際協会のリーダーの皆さま、そして地域会長の皆さまに対して、この大会のインパクトを若者たちが体験できるようにと、財政的な支援をしてくださったことに心から感謝しています。私は今回、初めて国際ユースコンボケーションに参加しました。世界中の様々なYMCA から集まった他のユースメンバーと知り合うことができ、とても良いプログラムでした。また、YMCA とワイズメンのパートナーシップにより、青年が地域社会で奉仕するリーダーとなることができるようになったことを、私はこの大会で目の当たりにし、感謝しています。私たちが直面している様々な社会問題にもかかわらず、セッションは洞察に富み、勇気づけられるものでした。今後、ワイズメンズクラブとどのようなコラボレーションを行い、地域社会にどのような影響を与えることができるのか楽しみです。



ステイラジ・ナクワン
(タイ)

国際ユースコンボケーションでの振り返り... 国際ユースコンボケーションに参加してから1ヶ月が経ち、国際ユースコンボケーションのみんなに会いたくなりました。私たちは、良い関係を築き、多くの素晴らしい瞬間を一緒に過ごしました。1日目から6日目まで、私たちは毎日素晴らしい時間を過ごしました。1日目:オープニング。2日目:ソーラン、ソーラン。3日目:チェンマイ市内見学を楽しみました。4日目:星空ディナー。5日目:卒業。6日目:さよなら宣言。

このように、毎日が素晴らしい瞬間の連続でした。そのような瞬間が恋しくなり、より良いものになりたいと思います。そして、その前に、国際ユースコンボケーションは、私が帰りたいでなかった最初のイベントです。以上です。またお会いして、一緒に素晴らしい時間を過ごしたいですね。ありがとうございました。



マニシャ・
バッターライ
(ネパール)

国際ユースコンボケーションのプログラムについてどう思いますか。国際ユースコンボケーションは、世界中の若者とつながり、彼らの文化を知り、親密な関係を築き、国際的に多くの興味深い活動ができる最大の機会の一つでした。**国際ユースコンボケーションの長所と短所は何ですか。**

長所=コアメンバー(スタッフ)のマネジメント、短所=食事の違い以外には特に感じませんでした。**どのイベントが一番好きですか。**コミュニティサービスプログラム、エクスカージョン。**国際ユースコンボケーションから何か学びましたか。**国際ユースコンボケーションに参加できたことは幸運でした。

国際会議での自己探求、カルチャーナイトで各国の文化について学んだこと、チェンマイの過去と現在について知ったこと、メンタルヘルスとその現状についての講義を受けたことです。

イベントは時間通りに行われたのでしょうか。はい、イベントは、時間内に行われました。ありがとうございました。



クリジア・ミレ・
ジョイ・ユウ
(フィリピン)

主催者は、よく練られたプログラムを実行することができました。分科会では、ユース・リーダーが、ブレインストーミングを行い、今日存在する社会問題について自分たちの考えを共有する機会を提供しました。私が、個人的に気に入ったのは、ある地方のコミュニティを訪問して活動する、コミュニティ・プロジェクトです。このコミュニティ訪問では、彼らの保存されている文化、伝統、生活様式を垣間見ることができました。また、セミナーや講演も行われ、講師の方々のご自身の知識やノウハウを若いリーダーたちに伝えてくれました。最終日の夜にはバンケットも開かれ、参加したすべての人に正式に謝意を表しました。全体として、素晴らしいイベントでした。ワイズメンズクラブ国際協会という組織として共通のビジョンを持つ、知的で積極的なリーダーたちと同じ空間にすることができ、光栄でした。いい機会でした。



川口夏菜子
(とちぎ YMCA
東日本区)

最も印象に残ったのは、英語、中国語、日本語を選択科目としている公立のバンガルドウィッタヤコム高校を訪問したことです。生徒から日本語で歓迎されました。日本語で書かれた日本軍の慰霊碑「泰緬鉄道戦没者慰霊之碑」を発見しました。ここは、第二次世界大戦のインパール作戦で戦ったタイ北部とミャンマーの方々の遺骨が安置されているところです。日本人の先祖がインドやフィリピンで多くの人を傷つけた歴史を聞いて、悲しい気持ちになりました。インドとフィリピンの若者が手をつないで祈りながら歴史を語っているのを見て、感動しました。この6日間のよう、お互いが心を通わせ、寄り添い、祈り合うことができれば、世界はより良いものになると思いました。これからも、他の人のために祈り続けます。このような貴重な機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。



伊藤瑠南
(中央大 YMCA
東日本区)

大学の YMCA サークルのグループラインに「タイ・チェンマイ留学」の文字が送られてきたとき、興味を惹かれ、行きたい人に手を上げました。その時は、まさか自分が行けるとは思ってもいませんでしたし、ましてや国境を越えて、帰国後もずっと連絡を取り合うことになる親友に出会えるとは思ってもいませんでした。この国際ユースコンボケーションを通じて、私は多くのことを学び、自分を成長させる良い機会になりました。この経験をバネに、これからもいろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。このような素晴らしい機会を与えていただき、本当にありがとうございました。



木下遙七
(埼玉 YMCA
東日本区)

私は、国の文化や背景が大きく異なることに魅力を感じていました。YMCA でプログラムを行う際、私はいつも「違っていてもいいんだよ」と伝えてきました。それは IYC でも同じだと実感しました。やる気のある人たちに出会えたこと、そしてプログラム終了後も連絡を取り合えることがうれしいです。IYC は世界平和につながると 생각합니다。この運動を広めるために、YMCA と一緒に活動したいです。私は、以下の活動に取り組みます。1. 埼玉 YMCA のプログラムに参加する子どもたちに、世界の人たちからのメッセージを届けること。2. 日本と世界を比較し、今できることを話し合い、自分を高めること。3. 青年部を作ること。最後に、このような貴重な機会を与えてくださった関係者の方々に感謝いたします。



峯尾心
(中央大学 YMCA
東日本区)

IYC に参加するのは初めてだったので、本番前は不安と緊張でいっぱいでした。しかし、プログラムの後半になると、英語でのコミュニケーションに慣れてきました。他の参加者とも楽しく、充実した時間を過ごすことができました。ディベートでは、流暢に英語が話せないことに悔しさを感じましたが、この経験から、もっと勉強して英語を話せるようにならなければならないと思いました。この経験のおかげで、今では物怖じせずに英語を話せるようになり、自信につながったと感じています。この活動で知り合った友人とこれからも連絡を取り合い、英語力を高めていきたいです。

Week 4 Waste (Page 13)

ゴミのための週 (YMI 清掃プロジェクト)

- 環境美化と植樹の通年活動。リデュース&リユース(リサイクル)
- 年間を通して環境教育にさらに力を入れ、4月の強調月間には特別なイベントを開催すること
- アジア太平洋地域 Week 4Waste は 2023年4月16日から22日まで開催される。4月22日はアースデイ。
- 環境教育やその他のプロジェクト活動のために、地元の YMCA との連携を強く推奨する。

地域開発委員会 (Area Development Committee(ADC))

ADC 委員長
デビッド・ルア

地域開発委員会(以下、ADC)は、1994年の第21回アジア地域(当時)議会において、タスクフォース委員長であったラモナ・モラレスの提言を受け、発足しました。しかし、ADCは、休眠状態となり、アジア太平洋地域議会の承認を得て復活する2020/21年までその状態が続きました。

復活、再編成されたADCは、地域開発基金(Area Development Fund(ADF))を傘下に収め、地域の連帯と開発を支援するという、基本的に当初のADCの目的に沿った職務権限を与えられました。地域役員や区理事は、1年の任期であり、長期的なプロジェクトをモニターし、達成することが難しいことから、ADCは、ある程度の継続性を持たせることによって、地域の発展において地域会長を支援することを目的としています。また、各区の代表である委員は、各区の状況について貴重な見識を持ち、その経験をもとに、区理事の貴重な情報源やメンターにもなっています。2020-2023年度の委員会メンバーは、以下のとおりです。

委員長 元地域会長 デビッド・ルア(SEA区)
副委員長 元地域会長 田中博之(東日本区)
委員 元地域会長 高田一彦(東日本区)
委員 元国際議員 谷川寛(西日本区)
委員 元国際会長 ジェニファー・ジョーンズ
(オーストラリア区)
委員 元国際議員 ラモナ・モラレス(フィリピン区)
委員 元国際会長 ウィチャン・ブーンマパジョン
(SEA区)

委員 元地域会長 エドワード・オン(SEA区)
委員 元地域会長 リタ・ヘチアラチッチ(スリランカ区)
委員 元地域会長 タンミン・シャオ(台湾区)
職責委員 地域会長 チャーミング・シェン(台湾区)
職責委員 次期地域会長 利根川恵子
(東日本区) 委員会書記
職責委員 直前地域会長 大野勉(西日本区)

ADCは、会員の高齢化に対応し、会員増強を支援する方法を模索し、地域内のリーダーシップの育成と継承に関わる事項などについて指導するシンクタンクとしての役割を担っています。

同時に、地域開発基金(ADF)の残高減少に直面し、委員会は、ADFの目標達成のための資金調達の方法を地域リーダーと共に検討しています。会員の皆さんは、アジア太平洋地域の発展のために、ADCの地域代表と意見交換をされることをお奨めします。



2022年8月22
日に開催された第
8回ADCミーテ
ィングから

区ニュース

南東アジア区

コインバトールワイズメンズクラブ(プラム南インド 区書記)、
ポカラ Y サービスクラブ(アルン・ラナバット会長)、ルンビ
ニネパール Y サービスクラブ(スレンドラ MC 会長)間の国
際兄弟クラブ(IBC) 交流会



ネパール、ポカラ Y サービスクラブによるガタスタパナ(ダ
サイン大祭)に際しての飲料水配布プログラム。(2022 年
9 月 27 日)



アジア太平洋エリア事業主任/次期理事ディーパック・バ
ンダリ、インドエリア西部部長セルバ・クマール、主賓ガン
ダキ県大臣マニベドラ・シャルマ等が参加しました。(2022
年 9 月 18 日)



バンコクワイズメンズクラブが YMI 100 周年記念のミー
ティングを成功させ、バーチャルツアーと障がい児のため
のクリスチャンケア基金(CCD)への寄付式典を行いました。
バンコクワイズメンズクラブは、CCD の日々の活動を
サポートするために 5,000 パーツを寄付しました。香港、
シンガポール、マレーシア、タイの他のクラブも Zoom を通
じて式典に参加しました。(2022 年 9 月 27 日)

台北ダウンタウンワイズメンズクラブのチャーマング・シェン地域会長 が、IBC のラハフィリピンワイズメンズクラブを訪問
(2022年9月9日～12日)。

チャーター会長/ジョナサン・テン元理事
ラハフィリピンワイズメンズクラブ

1日目-到着後、台北ダウンタウンワイズメンズクラブは、ラハフィリピンワイズメンズクラブと会い、豪華なカジノホテルオカダで昼食を取りました。その後、ラハレスキュー本部、サント・トーマス大学(アジア最古の大学)、マニラ YMCA を訪問し、歓迎夕食会が行われました。レディクラブ役員や台北ダウンタウンからの代表者による文化的なダンスで、皆プログラムを楽しみました。また、ラハからはクラブが出品した文化的な食の遺産が紹介されました。



2日目 - ゴルファーは夜明けにイーストリッジ・ゴルフクラブへの風光明媚なドライブを楽しみました。ゴルフをしない人は、城壁都市イントラムロスとその周辺を訪れました。また、トゥロイストリートチルドレン・ビレッジを訪問しました。ロッキー・エヴァンジェリスタ神父が、毎日 1,000 人近い子どもたちをどのように扱っているかを説明してくれました。ワイズメンズクラブ国際協会の 100 周年を記念して、2 つのブラザークラブの協力のもと、100 袋の米がトゥロイに寄付されました。



3 日目-マニラから北へ 4 時間のドライブの後、ラハフィリピンワイズメンズクラブの代表的なプロジェクトの一つである、全国規模のメガブラッドレットイベントを視察しました。このプロジェクトでは、約 1,000 袋の血液が生産され、救急患者に無料で提供されます。



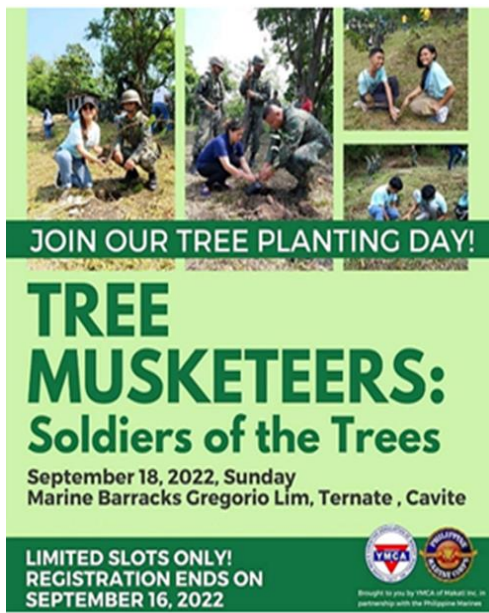
地域会長チャーミングと台北ダウンタウンワイズメンズクラブは、キャンプ・フォート・マグサイサイの第 7 歩兵師団アンドリュー・D・コストロ少将から表彰されました。一行は、キャンプ内を案内されました。昼食は、フィリピンの有名なレストラン、ヴィセンテコスで、お別れのディナーは、有名で象徴的なマニラホテルで行われました。



4 日目 - この日はお別れの日。新型コロナウイルスの脅威の中、実りある有意義な訪問となりました。2023 年 3 月、台北で開催されるワイズメンズクラブ国際協会 100 周年祝賀会での再会を、みんな心待ちにしています。

マカティ YMCA とフィリピン・マリズズのパートナーシップによる プロジェクト「木の三銃士」プロジェクト

フィリピン区は、マニラベイ部のクラブとともに、カビテ州テルナテのグレゴリオ・リム海兵隊兵舎での植樹祭を支援し、参加しました。海兵隊の方々と一緒にブードルファイト（軍隊式食事）のランチが振る舞われました。（2022年9月18日）



年次 PWDs スペシャルオリンピック

ラハフィリピンワイズメンズクラブが、市の地域リハビリテーション、すべての特別な子供を守る親の会(CBR スマイル)を通じて、さまざまなクラブや組織と連携し、PWDs(障がいを持つ人々)年次スペシャルオリンピックを開催しました。このイベントには、100人以上のPWDとその家族が参加しました。彼らは CBR スマイルのさまざまな支部から参加しています。今年のスペシャルオリンピックは、2022年10月8日、ケソン市メモリアルサークルのアンフィシアターで開催されました。私たちのPWDは、ゲームに積極的に参加し、才能とスキルを発揮しました。優勝した参加者には賞金とメダルが授与されました。また、ゲーム終了後には、参加者一人ひとりに食事が配られ、笑顔がこぼれるようなプレゼントが用意されました。マリー・ヴェルダン区 CS 事業主任とモニナ・カリンガサン地域 CS 事業主任は、この機会を利用して障がい者に心を寄せるために無私の時間を捧げたすべての父兄、保護者の方々に敬意を表します。障がい者の方々は、クラブが前進し、愛にあふれた有意義なプロジェクトで地域社会に貢献し続けるためのインスピレーションを与えてくれる存在なのです。





台湾のワイズメネット

愛とサポート



区ワイズメネット事業主任 カレン・ルー

(Page 59)

2019年、トニー・リャオ理事(2019-2020)は、台湾の全てのワイズメネットクラブを正式にワイズメネット国際協会に登録する計画を提案しました。この計画は、フランク・ツァイ元理事、ケビン・スー直前理事などによってサポートされました。11のワイズメネットクラブが138名のメンバーで登録を完了しました。会費(236スイスフラン)は2022年5月に国際本部に送金され、ワイズメネットのグローバルプロジェクト基金に1,949スイスフランを追加で寄付しました。

台湾ではワイズメネットの活動は毎年、部長によって行われています。ワイズメネット・リリー・チェン福祉基金は、ワイズメンのチャーミング・シェンが自身の妻を偲んで2019年1月に設立したものです。この基金の目的は、健康という概念を広め、医療援助を行う会員を支援し、とりわけ教育を促進することです。

2021年4月、北部部長リー・シンチンは、基隆市議会マルチメディア視聴覚センターで「北部メネットイベント」-視力健康をテーマとした医療講演会を開催しました。



2021年12月4日、DBCトライアングルの会員66名によるYM100周年祝賀会のCSプログラムとして「Play with love」が上演されました。このプログラムは、屏東ワイズメンズクラブとワイズメネットクラブが共同で主催し、台北ダウンタウンクラブと台中グレートビジョンクラブとワイズメネットクラブがスポンサーになりました。知的障害者協会から120人の子供と50人の親がゲストとして招待され、ワイズメンバーと一緒に遊びました。台湾区の理事、南部部長、3つのクラブの会長と会員を含む全会員は、合計で135,000台湾ドル(約4,500米ドル)を屏東知的障害者協会に寄付しました。



ワイズメンズクラブ国際協会 100 周年祝賀会

100 年前の 1922 年 11 月 15-17 日、ニュージャージー州アトランティックシティ(米国)において、ワイズメンズクラブ国際協会(YMI)が設立され、オハイオ州トレド出身のポール・ウィリアム・アレキサンダーが初代国際会長に就任しました。アトランティックシティから台北までの道のりは、メンバーの決意と情熱の結集によってのみ可能となった力強いものです。北米のランチョン・クラブから始まった私たちは、私たちのビジョンとミッションに反映されているユニークな価値観のもとに、国際的なクラブの親睦を深めるまでに成長しました。YMI は、無私の奉仕と犠牲的な献身の代名詞です。私たちは、それを義務として認識することによって、何千人もの人々の人生に触れ、高めてきました。YMI は、ボランティア活動を通して、普通の人々が自分自身や他の人々の生活に並外れた影響を与えることができることを証明してきています。私たちは、YMCA への継続的な支援、そして YMI の本質を示す多くの独立したコミュニティインパクト・プロジェクトへの支援を通じて、パートナーシップの力を示し、その伝統を尊重し、YMI のアイデンティティと強みを提供しています。経験と新しいアイデアを組み合わせることで、私たちはこのアイデンティティをもとに、公平で持続可能な世界のために働く新しい世代の地球市民にとって魅力的な、活気ある組織へと進化していくことができるのです。台北はモダンで革新的な都市であり、私たちの組織の次の段階を開始するのに適した場所です。台湾の台北でお会いして、次の 100 年に向けた旅立ちを一緒に祝いましょう

プログラムの概要

3 月 10 日(金)

11:00-15:00 受付
 15:40-16:10 バナーセレモニー
 16:10-16:45 開会式
 16:45-17:15 過去 100 年のリーダーの顕彰
 17:15-17:35 100 人合唱隊
 17:35-17:50 私たちのストーリー① (VTR)
 17:50-18:20 懇親のとき
 18:20-18:45 台湾先住民のパフォーマンス ①
 18:45-20:15 晩餐会
 20:15-20:40 台湾先住民のパフォーマンス②
 20:40-20:55 授賞式
 21:00-22:00 各区等のイベントと連動

3 月 11 日(土)

9:00-9:20 私たちのストーリー② (VTR)
 9:20-10:10 基調講演
 -親睦と影響力の卓越性に向けて
 10:10-10:30 休憩
 10:30-11:00 座談会
 -クラブ内のフェロウシップ、YMI の意義、私たちの運動を築くには
 11:00-17:30 エクスカーション
 18:00-22:00 晩餐会
 -エンターテインメント、スピーチ等

3 月 12 日(日)

6:30-7:30 ウォーキング
 9:00-9:20 ユース合唱隊
 9:20-9:25 祈り
 9:25-9:40 私たちのストーリー③ (VTR)
 9:40-10:20 基調講演
 -YMI の将来のためのビジョン
 10:20-10:40 セミナーまたは 2024 年国際大会プロモーション
 10:40-10:55 100 周年宣言
 10:55-11:10 大会ハイライト(VTR)
 11:10-11:35 閉会式
 12:10-14:00 昼食

日程:2023 年 3 月 10-12 日

会場:台北グランドハイアットホテル

登録料(早割) 420 米ドル

オプションイベント:RBM ゴルフトーナメント

(3 月 9 日)150 米ドル